

2020年(令和2年)10月31日(土曜日)

三島駅再開発

住民投票条例案を否決

請求者代表「行政の姿勢そのまま」

三島市議会は三十日の本会議で、JR三島駅南口東街区の再開発事業を巡る住民投票条例案を賛成少数(賛成五、反対一六)で否決した。

約五千人の署名を集め、豊岡武士市長に条例制定を直接請求した請求者代表の一人、吉岡肇さん(六八)は閉会後の取材に「残念だ。都市計画決定を延期し見直す選択はありえないという、行政の姿勢をそのまま受け入れていると感じた」と話した。



採決で住民投票条例案を否決する三島市議会

本会議の討論で条例案に反対する議員は「二年前の市長選で(事業推進を掲げる)豊岡市長が当選した。民意は既に示された」「投票の選択肢が事業反対への誘導に思える」などと述べた。賛成議員は「署名集めで事業を『知らない』という市民の声が出てきた。市と議会は重く受け止めるべきだ」「都市計画決定後、事業の骨格の見直しは困難

だ。その重みを知った上で請求は無視できない」などの意見があった。豊岡市長は閉会后、取材に「議会は適切な判断をしてくれた。直接請求は重く受け止め、説明責任を果たす。丁寧な意見聴取もしていく」と話した。市は現在の事業計画を都市計画審議会に諮り、県との協議後、都市計画を告示する予定。

(渡辺陽太郎)